

投稿規定

2015（平成27）年12月1日改定

1. 本誌の目的

「早期離床」は日本離床研究会の学術誌として年1回発行する。早期離床および関連領域における研究発表と実践報告の場を提供することを主な目的とし、学術論文の投稿を受け、査読審査の上掲載する。

2. 投稿内容

記事の種類は、原著、症例報告とする。総説、解説、対談、全研、調査報告、文献抄読、早期離床Q&Aは原則として依頼原稿とするが、特に投稿の希望がある場合は事務局に問い合わせを行う。

1. 原著…新規性、独創性があり、明確な結論を示した論文。
2. 症例報告…単独あるいは複数の症例経過の問題点や治療について論理的に提示し、考察を行ったもの。
3. 総説…特定の主題についてまとめて、包括的かつ多角的に述べた論文。
4. 解説…特定の事柄について分析し、理解しやすく説明・解説を加えた論文。

3. 投稿資格

本誌への投稿は原則として、本会の会員に限る。ただし、本会に寄与する論文であれば会員外の投稿も受け付ける。

4. 投稿の注意点

1. 他誌へ発表あるいは投稿中のものは受け付けない。投稿に際しては、他誌に未発表であり、現在投稿中でもない旨を記載した投稿承諾書（別紙）に著者全員が自筆にて署名し、投稿原稿に同封して当会事務局に提出する。
2. 原著および症例報告では、対象者に研究内容についてあらかじめ十分に説明し、自由意思に基づき文書により同意を得たことを明記する。所属機関の倫理委員会またはこれに準拠したものとの承認があることが望ましい。

5. 著作権

本誌に掲載された論文の著作権は、一般社団法人日本離床研究会に属する。

6. 原稿の採択

原稿の採否は複数の査読者の意見を参考に編集委員会において決定する。

7. 執筆要項

1. 投稿原稿は、表紙頁、要旨、本文、文献、図表、図表の説明文で構成する。
2. 句読点は「、」および「。」を用いる。
3. 表紙には希望する投稿記事の種類、論文タイトル、著者名、著者所属、責任著者の所属住所と電話・FAX番号とE-mailアドレス、図表枚数、原稿文字数（図表含む）、キーワード3個を記載する。
4. 原著は本文、文献、図表と図表の説明文を含めて文字数8000字以内、症例報告は文字数5000字以内を原則とする。
5. 原著と症例報告には400字以内の和文要旨をつける。要旨は、目的、方法、結果、結論等、項を分けて簡潔に記載する。
6. キーワード：論文タイトルおよび要旨より抽出し、不十分な場合は本文から補充する。
7. 本文は、背景（始めに）、対象・方法、結果、症例、考察、結論 等の見出しをつける。
8. 文献は本文の引用順に並べる。雑誌の場合は著者氏名、論文題目、雑誌名、巻、頁（最初－最終）、発行年の順に書き、単行本の場合は著者氏名、書名、編集者名、発行所名、発行地、年次、頁を記載する。文献の省略は公の省略法（IndexMedicusなど）に従う。引用文献の著者氏名が3名以上の場合は最初の3名を書き、ほかは、他、またはet al.とする。

[例]

- 1) 葛川元：数日間の臥床で起こる"デコンディショニング"と早期離床の関係. 早期離床. 1 : 2-4, 2015.
- 2) Schweickert WD, Pohlman MC, Pohlman AS, et al: Early physical and occupational therapy in mechanically ventilated, critically ill patients: a randomised controlled trial. Lancet. 373: 1874-82, 2009.
- 3) 葛川元, 横山浩康. 見れば納得 離床の安全な進め方 離床計画を立案するコツ. 実践早期離床完全マニュアル. 慧文社, 東京, 2007, pp.140-4.

8. 投稿承諾書

論文への責任および著作権譲渡の確認のため、別紙の投稿承諾書に自筆による署名をして当会事務局に郵送すること。

9. 校正

著者校正は原則として1回とし、文章及び図表の変更は原則として認めない。

10. 掲載に関する費用

本会会員の投稿で規定の分量の範囲内までは無料掲載するが、規定の分量を超過した場合もしくは会員外からの投稿には実費を徴収する。

11. 投稿方法

投稿原稿および投稿承諾書は下記事務局宛に郵送する。

一般社団法人 日本離床研究会事務局

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-2-12-2F

TEL 03-6272-9682 FAX 03-6272-9683

原稿は返却しないので、コピーを必ず保管すること。